

モニター通信 No.2

皆さんから寄せられた「モニター通信7月分」を紹介します。

「地域でのボランティア活動について」 ～各団体・組織活動を通じ取り組んでいること、思うことなど～

モニターから No. 1

私はいまだ「これぞボランティア」といわれるようなことに参加したことはないが、日頃から小さな事、ささいな事柄に心を配り動いている。身体に障害のある方、お年寄りの方等に声掛けしたり、ちょっとしたお手伝い等、気付いた時には体を使うに厭わない。

社会のため、または人様のために自分の空き時間を有効に使うということは、誰でもいつでも出来ることではないし、本当に素晴らしいことだと思います。そして、それは常に相手と同じ高さでものを考え、行動することが望まれ、上から目線で接することは避けなければならないと思う。

これからも常に謙虚さを失わず動くことを信条としたいです。

モニターから No. 2

現在、ボランティア的に行っているのは、献血と災害が起きた時の募金協力です。地域での活動としては、以前PTA役員(二人の息子たちの幼・小・中学校で合計10回)地区公民館の役員(延べ6年)を経験しましたが、今はフリーの状態です。

実は昨年秋、土浦市の健康まつりで刃物砥ぎの列に並んだ時、すぐ前に並んでいた人と言葉を交わしているうちに、地区公民館単位で高齢者にお弁当を作って配る活動に誘われました。しかしながら、少し前にそのボランティアに参加したことのある近所の人から問題点があることを聞いていたので、言葉をにごして誘いを断りました。

このような組織的で決まった時間に行う活動でなくても、ちょっと空いた時間で出来ることがあると思います。必要なのは、ボランティアしたい人と助けてもらいたい人を結びつけるコーディネーターです。

数年前、たまたま通りかかったバス停前で、白杖を持った人がバスに乗るのを手伝ったことがあります。あの人はその後うまく目的地に着けたかどうか、今も気にかかっています。

モニターから No. 3

7月11、12、13日に消費生活連絡協議会の40周年記念式典と消費生活展が開催されました。両方に参加して感じたことは、まず連絡協議会の存在と活動40周年に驚きました。当市に参りまして35年になりますが、霞ヶ浦水質浄化には当協議会が中心で行っていた事と、各部会の活動に感銘しました。こんな素晴らしい事に、是非参加してみたいと思いました。

モニター3年目になりますが、協議会と連動して実のある実績を残したいと思います。協議会の部活動には私たちモニターの方々が多く参加していると思いますが、私は勉強不足で全く知りませんでした。

モニターと各部会の存在意義はありますが、ある程度融合してモニターにも活動させ、部活動

とは違った解答を得るとともに、庶民生活への展開が出来れば素晴らしいことではないかと思えます。それに加えて振り込め詐欺など、消費者が一番注意し撲滅運動などのキャンペーンを展開し、意義深いモニター活動を実施していけばと思います。消費生活展ではモニター調査の結果も是非ご披露し、庶民生活に少しでも貢献できれば最高と思います。

モニターから No. 4

清掃活動を通して驚いたことがいくつかあった。川の清掃で缶や紙くずがゴミとしてあるのは分かるが、ズボン・肥料・長靴など少し考えられないものもあった。現在、環境問題が深刻化し、身の回りではゴミの分別やエコバッグなど環境への取り組みが行われている。しかし、今回の清掃活動を通して胸が痛くなった。これでは水質汚染により生態系が変化し、異常事態が発生してもおかしくないと思った。

無償で何かをやるということの気持ちよさに気付いた。何も貰えなくても、終わった後の地域の人の「お疲れ様です」「ありがとうございます」という言葉を聞くだけで、晴れ晴れとした気分になれた。また、ゴミを拾っていて、他人の庭の木にゴミが埋め込まれて捨ててあったり、隠れて見えないように草の根元辺りにゴミが捨ててあったりしたのを見て、マナーの悪さに少しショックを受けた。また機会があれば、このような活動に参加してみたいと思った。

モニターから No. 5

町内会、敬老部の活動について

870世帯が一つになっている地域で、区長以下、敬老など10部(会計・広報・環境整備・交通防災・体育文化・婦人・青少年・地区体協・総務)があります。7つのブロック、59班に分かれていて、ブロック長・班長は持ち回りで定められています。敬老部は、市報・広報などの仕分け及び班長への配布などを担当しています。

老人一人、または二人世帯がある一方で、40代・50代の子(または親)離れしていない男女(二、三世代同居)がいて、行事(年7回程の区長・班長の会議、消防訓練、運動会など)に参加しないのがネックになっています。

モニターから No. 6

私はボランティアグループに所属し、高齢者施設で活動しています。内容はデイサービス利用者の話し相手、入浴後のドライヤー、洗濯物の片付け、日常のちょっとしたお手伝い、施設の年中行事のお手伝い等々です。また社協の友愛サービスで、一人暮らしの高齢者の家事のお手伝いを(短時間、軽作業で)やらせて頂いているに過ぎません。

ボランティア活動で楽しく思う事は、自分一人が二本の手で出来る事は僅かで淋しいですが、二十人の仲間と一緒に四十本の手でやる時は、その都度驚きと感激があります。

キリスト教の伝統がない日本でボランティア活動は長続きしないと云われますが、手を繋ぎ手助け手伝い共に生活を守っていくのは(今忘れていても)父達母達の生き様死に様だったように思います。

モニターから No. 7

ボランティアといっても実に様々である。震災のがれき撤去のような体力を使う作業は無理だ

けれど、小さなことでも今出来ることをやろうと、日々心掛けている。

その一つがペットボトルのキャップを集めておくことだ。ユニセフに寄付すれば、途上国の子どもたちがワクチンを接種することが出来るようになる。先日のお祭りの時も、キャップを集めていた人がやはり「ワクチンになるから」と言っていた。同じ考えの人がいて嬉しかった。また、地域の川や公園の清掃には参加するようにしている。

ボランティアとは、どんな小さなことでも一人一人が自分が今出来ることで、社会に貢献していくことだと思う。

モニターから No. 8

率先してボランティア活動に参加しているわけではありませんが、子どもの学校でのボランティア活動は少し参加しています。学校(子供会)で行われているスポーツクラブのお手伝いや奉仕作業(草取り等)、ベルマーク収集、カートリッジ・空き缶のリサイクルなどを行っています。それから防災パトロールの旗やプレートの設置をしています。

このぐらいしか、まだ参加できていません。団体や組織に所属して本格的に参加されている方、すごいと思います。うちはまだ子どもが小さいので、もう少し大きくなり手が離れたら、いろいろな活動にもっと参加したいと思っています。子どもたちの安全を考えたり、地域のお役に立つこと、もっとできたらいいなと思います。

モニターから No. 9

私たち60代の世代の地域見守り活動に、本当にありがたいと思っています。通学時間に、子どもたちと一緒に歩いて登校のサポートをして下さり、安心致します。歩きながら子どもの目線で見るとは、いくつになっても教えられるものがあるように思えます。

以前、グループ3~4人、10班くらいで地域の道路を、ゴミを拾ったり不審者がうろうろしていないかななどを観察しながらパトロールしていました。いつの間にかなくなってしまったので、区長さんが変わってしまったからかな?なんて思っていますが、地域パトロールは参加できる方だけでもやれればと思っています。

モニターから No. 10

数年前から、地域で食生活に関するボランティアを行っている。学童の食生活については、朝食をきちんとたべよう!野菜を一つでも良いから食べよう。成人病予防のために、バランスのとれた食生活を。高齢者には、低栄養予防の食事を。何よりも簡単で美味しい食事をするには・・・等々。様々な環境の方々の、食生活のヒントにして頂けたら。そして、我が家の食生活の助けになれるよう、日々栄養士さんや活動員たちと取り組んでいます。

どこの団体でも、ボランティア活動の担い手の高齢化が課題となっている。どうしたら解決できるのか、日々悩みながら活動しています。

モニターから No. 11

自発的な意思に基づき、自主的に無償で奉仕活動をする。一口にボランティア活動と言っても、いろいろな種類があります。有償か無償かでの違い、個人か団体での活動による目的・目標等です。無償ボランティアは被雇用者のように組織から拘束を受けず、自発的に行動できる特徴があ

ります。団体での活動では、組織の方針に従い協同活動が義務づけられる。個人の方には自由がある。

活動に参加するためには、時間・お金・足・体力が必要ではないでしょうか。

モニターから No. 12

学生時代こそ多種多様なボランティア活動に参加していましたが、今はポツリ、ポツリ……。その中で、某団体で取り組んでいるたすけあいの活動について書かせて頂きます。

有償の活動で、依頼人の要望に応じ、活動内容は幅広いです。私は掃除、草刈りをやったことがあります。依頼して頂いた方に喜んで頂けるのは、自分にとっても励みになります。父子家庭のお子さんの送迎をやった例があり、お父さんが仕事の都合で不可能で、行政でも対応が無理なことに対応できたことに、感謝の気持ちを頂いたことがあったことを聞きました。

核家族化が進んだり、ニーズが多様化したりする中で、出来ることを自分なりに行き、それが社会や人のためになることは、とても意味深いと思います。

もっと地域で気軽に参加できる活動があればいいのにな・・・と、切に思っています。

モニターから No. 13

不足している介護従事者を補うために、高齢者による介護ボランティアが注目を浴びている。自分が介護を受けることになった時、ボランティア活動によって得たポイントを還元できるというシステムだ。物質的な対価を求めないボランティア活動とは違うが、活動を促すためにはいいモチベーションになると思う。時間と労力を割いて自分が疲弊してしまっただけでは、誰も積極的に活動しないだろう。一種の有償ボランティアなら、現実的で参加者も増えるのではないだろうか。

私自身は無償ボランティアで在日外国人に語学面で手助けしているが、異文化体験ができることが大きなモチベーションになっている。相手の国を知ることが、国際理解の一步だと信じて活動している。

モニターから No. 14

世界中からトップクラスの音楽演奏家を招いてコンサートを開催する団体を、ボランティアで運営していた。ある大企業からの協賛金を得て、毎年7回から8回、有名な演奏家を招いてコンサートを開催してきた。東京まで行かなくてもそのようなコンサートを聴ける、協賛金のおかげで、同じコンサートを東京よりも安く聴けるということで、県南の音楽ファンはもちろん、東京・神奈川辺りからまで聞きに来る人たちが、活動は支えられていた。

ところが、アベノミクスでその企業の収益が減って、協賛金の拠出を停止された。以来、コンサート活動は維持できなくなり、開催団体を解散した。大企業でなく県南の地元の企業を回って協賛金を集めようとしたが、賛同を得られなかった。また、市からの補助金でもと依頼したが、そのような事業には市も市議会も関心がないということで、これもダメであった。

県南の市町村はどこでも同様であるが、大きな産業もなく、人口や税収が増える要因もないのであるから、大都市のベッドタウンとして人口を増やし、あるいは文化的魅力を備えて訪問客・観光客の増加を促すべきなのに、それらを求めて水戸まで行ってしまおう人たちを、土浦で止めるための質の良い音楽会開催、質の良い美術館の整備など、文化都市として発展する施策が全くない。

余計なことかもしれないが、取沙汰されているつくば市との合併など、対等合併など考えているとしたら、こういう文化的側面では差があり過ぎる。

モニターから No. 15

始めるきっかけは17年程前、絵本に出てくる動物のぬいぐるみ作りを頼まれたことから、隣接する町のよみきかせの会に入りました。読むことが好きだったので朗読ボランティアにも入り、小説を2冊録音し、図書館に入れてもらいました。やりがいは大きいものの眼はきつく、アクセントはもちろん、歴史ものは人名・地名・神社仏閣の読み方、直しと厳しいものでした。今はデジタル化され、やり方も違っているようです。

現在は、公民館の市民委員会で広報作り、記念誌作り、茶話会のお手伝い等。つい先日はお祭りの手伝いに参加し、学校役員、その他の方々のご苦勞に頭が下がりました。よみきかせは、小学校・学童保育、また幼稚園・老人ホーム等へ行き、絵本・紙芝居・手作りシアター等やっています。今後はもっと手作りの作品を作りたいと思っています。

モニターから No. 16

土浦市には、食生活改善推進員や運動普及推進員等のボランティアがあり、時々その催しに参加させて頂いています。先日、運動と料理講座を兼ねた講習会に参加させて頂きました。参加者はご年配の方々ほとんどでしたが、生き生きとそして笑顔で楽しんでいらっしゃいました。ボランティアの方々、私よりもずっと年上の方が指導されていましたが、身体をしっかりと動かし、大きな声でお年寄りにわかりやすく説明し、しっかりとボランティアの任務をこなしている姿は、見ていて気持ちの良いものです。

お年寄りにとって理想は、健康で自立していける状態や環境です。私自身は現役で働いている身なので、なかなかボランティアとして関わることはできませんが、仕事を離れたらお年寄りばかりでなく、自分自身のためにも、そして地域のためにもボランティアとして関わっていただけらと思います。

モニターから No. 17

私など若い頃は相次ぐ転勤、出張で地域社会に根付くこともなく、またボランティア教育など受けなかったし、ボーイスカウト経験者も少なかった時代で、高齢者になりようやく落ち着き、幸いにも健康で、何か社会のためにとということでボランティア活動に興味をもち、5年前から実践している。はじめに参加した団体が性に合ったのか、今も継続してリーダーとして活動している。県のボランティア団体で、急速な高齢化が進む中、高齢者が明るく健全に社会の一員として活躍するために、地域高齢者の生きがい・健康づくり活動を支援するための事業を企画し、実施している。事業活動としては、各種スポーツ活動やいろいろな文化・学習活動に加えて、高齢者福祉施設訪問を展開している。今後も地域社会、特に高齢者のニーズを取り入れ、企画し活動に役立てたいと思っている。

モニターから No. 18

ボランティアは誰でも出来ることです。構え過ぎず、気が付いた時にすることが良いと思いま

す。私もいくつか活動をしています。自分の生活を犠牲にしてまですることがなく、気持ちと時間に余裕がある時にします。ボランティアをしているというよりは、させていただいていると心掛けると気持ちが通じるものです。小さなボランティアの積み重ねが大切だと思います。

誰でも出来ることなので、色々な年齢層の方が参加することを望みます。

モニターから No. 19

いろいろな町で、年配の方が主になり自警団的なパトロールをやっているのを聞き、また目にしたりします。とても良いことだし、大助かりで心強い活動で、市もそういう方々を積極的にサポートして多くの方の協力を得、安心・安全な生活の向上につなげていって下さればと思います。

今やリタイヤした方々の力は、働く若いお母様や学童たち、その他諸々に必要不可欠なのではないでしょうか。長く培った知恵や技術を、違う形で活かせていける「場」を作って、共に支え合えるコミュニティ作りが必要だと思います。

モニターから No. 20

地方から居住して何か自分に出来ることがあり、地域に関わりたいと思い、自分の生活時間に余裕ができた時、広報などを見て今の活動に参加することにしました。今はあまり活動できず、仲間に迷惑をかけ申し訳なく思っています。今の活動はボランティアというより、自分の健康の維持、精神面の充実、仲間とのふれあい、ほかの多くの人との交流を第一に考え、楽しく運動をしています。

ただ、土浦にどんな種類のボランティア活動があるか知りません。これから活動を目指す人にボランティア内容、活動状況、連絡先など広報に載せてもらえば、もっと多くの方の参加が得られると思います。

モニターから No. 21

- ① かつて食生活運動に参加したことがあり、各グループを作り先生とバランスのとれた料理を作ることを各自研究し、地域の皆さんに声を掛け参加して頂き、とても喜ばれたことが嬉しく思っています。これからも食改がどんどん広がっていくことを願っています。
- ② 各地区で独居老人に弁当の宅配をしたことがあります。車のある方は自分で出し、一軒のお宅に届けた時のこと、焦げ臭い匂いがし「おばあちゃん鍋が焦げているんじゃないの」と三人で声を掛けたら大助かりしたと喜んでくれ、大事に至らずほっとしました。高齢化社会になり、近隣・親類・子供たちの絆は大事なことと感じました。
- ③ 私たちの町内でも花一杯運動、小学生の見守り、その他活動しているようですが、他人事と思わないで声を掛けあって皆で協力していきたいと思えます。

モニターから No. 22

地域のボランティア活動は、日常的にかなり定着している。町内会単位の公園に花一杯運動や、防犯パトロール、行政とタイアップした独居老人宅への弁当配布、低学年児童の通学時のパトロール等である。

今後、高齢化社会が著しいスピードで進捗する中、交通事故の防止や生き甲斐に連なる活動が、少しでも多く取り上げられるよう、また少子化が懸念される中、保育所の充実など育児に関する

活動が少しでも多く取り上げられるよう念じて止みません。

モニターから No. 23

町内のボランティア活動として、全町民による年2回(春と年末)の町内全域の草刈り清掃活動がある。親同伴の就学未満の子どもたちや小中学生もゴミ収集に参加している。

また老人会は毎週数回、小学生の通学路清掃と交通安全のお手伝いをしている。通学での事故はゼロである。

モニターから No. 24

7月11日に開催された記念講演会に参加しました。ヨネスケさんのお話は、大変勉強になりました。文明(エアコン)ではなく、文化(ウチワ・スダレ・浴衣など)を大切にしたいお話は、まさに「地球にやさしい暮らし方」そのものだと思います。

また自分自身で覚えるため、ボケないために、ヨネスケさんが今日話したことを3人の人に、その次の日はまた別の3人に話して、という願いは、振り込め詐欺を身近な人に伝えて防いでいく時にも使える有効なやり方だと感じました。

ヨネスケさんは話のまとめ方が上手で、話題はたくさんあったのにポイントは押さえていて、楽しい時間を過ごせました。

モニターから No. 25

私のボランティア活動は、主に助け合いの分野で活動しています。友人からの誘いで気軽に始めたものですが、15～16年長く続いているもあります。

ボランティアは立派な社会活動だと思いますので、会員とは積極的にコミュニケーションをとったり、少しでもお役に立てるようにと前向きに取り組んでいます。長く楽しみながら続けていられるのも、会員との情報交換、学習会等、他のサークル、テレビ、新聞からでは得られない有益なものがあります。

ボランティア活動を通して広く社会に眼を向け、人間的にも成長していけるようにしたいです。